



代表取締役 屋附 秀司

株式会社  
ヤツキ情報システム

京都市下京区中堂寺南町134  
京都高度技術研究所7F  
☎075-315-9063  
http://yatsuki-js.jp

プロフィール

1970年生まれ。1992年鹿児島大学にてAI(ニューラルネット)の研究開発を開始し、2015年9月に株式会社ヤツキ情報システムを設立。京都リサーチパークを拠点に、翻訳・生体認証・自動運転などのソフトウェアを開発。特に言語処理AIを強みとしている。鹿児島大学大学院理工学研究科特任教授。



# 「私の挑戦」

ビジネスプラン誕生の裏側  
受賞企業紹介

第6回 チャレンジ部門 優秀賞 受賞

## 生成AI、使えていますか？ 「Ladle」が文脈から機密情報をすくい取り、 安全な活用をサポート！



私が大学時代から研究してきたニューラルネットワークは、現在のAIの中核をなす技術であり、人間の脳の仕組みをモデル化してコンピュータ上で模倣し、人間ができることをコンピュータ上で実現することを目指しています。大学院修了後は、高専に教員として勤務し、学生に教える中で技術を実社会に生かすものづくりへの関心を深めました。

その後、京都の会社に転職してソフトウェア開発に携わり、独立を経て現在の会社を設立しました。受託開発を中心に事業を展開してきましたが、次に「自社製品を開発したい」という志向が強まってきました。

そこで注目したのが、生成AI活用におけるセキュリティの問題です。中小企業の中には、情報漏洩の不安から生成AIの利用を控えるケースが少なくありません。こうした背景を踏まえ、大規模なAIでは実現が難しい、ローカルPCで動作する「小さなAIモデル」だからこその仕組みに着目しました。キーワード設定に依存せず、文脈を理解して機密情報を検知し、生成AIへの送信前にリスクを可視化し、警告す

る仕組みの開発を目指しました。

こうして誕生したのが、受賞プランの「Ladle」です。このサービスは、文書に含まれる機密情報をAIが文脈から検知し、該当部分にマスクをして外部へ送信します。生成された回答は、マスクを自動で解除して表示できる仕組みとしています。

当社の強みである言語処理AI技術を活用することで、機密情報を外部に出さずに済み、情報漏洩のリスクを大幅に抑えることが可能です。なお「Ladle」は「柄杓」を意味し、「機密情報をすくい上げ、ユーザーをサポートする」という思いを込めています。

今回の受賞を契機に信頼性が高まり、導入検討や既存サービスとの連携の提案が早速寄せられる等、手応えを感じています。今後も、さまざまな分野の方々に生成AIの利用状況をヒアリングしながら、実務での利用を想定した改善を継続し、使いやすさとセキュリティの両立に向けて、引き続き挑戦してまいります。

👑 ビジネスプランの詳細はこちら



事業展開を後押しするため、法的整備に向けた専門相談の活用をはじめ、広報支援、展示会・商談会等の異業種交流の機会を提供し、サービスの認知向上と導入検討、多分野での連携機会の創出を図ります。

京商の支援